

## 『糖尿病合併症としてのアルツハイマー病』

糖尿病とアルツハイマー病（AD）の間には密接な病因、病態学的な関連があり、高インスリン血症やインスリン抵抗性がAD病変を加速することが明らかになってきた。今後、糖尿病診療の観点から、ADの早期発見や治療が期待される。



第53回日本糖尿病学会年次学術集会  
ランチョンセミナー 48

# 糖尿病合併症としての アルツハイマー病

神戸大学大学院医学研究科 総合内科学 教授

座長

**横野 浩一 先生**

東京医科大学 老年病科 教授

演者

**羽生 春夫 先生**

**日時** 2010年 5月29日(土)  
12:00-12:50

**会場** 第12会場  
ターミナルスクエア 12F ホール  
〒700-0024 岡山市北区駅元町1-4